

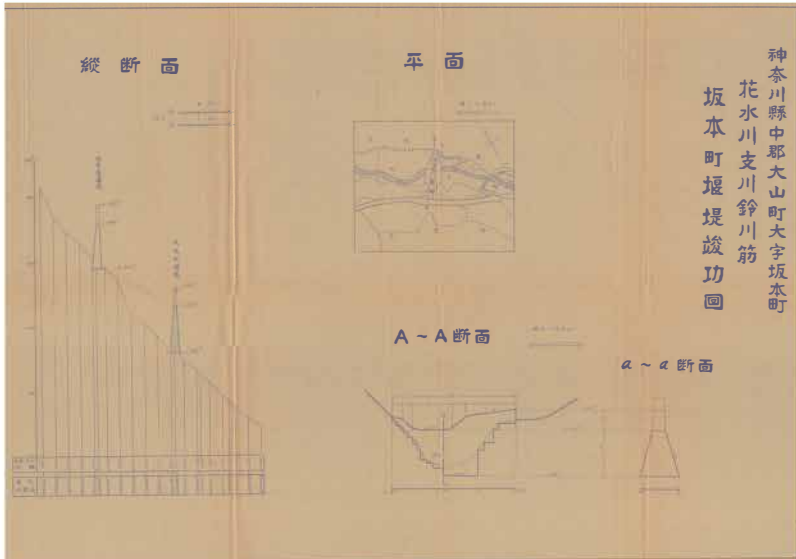
歴史的砂防施設: 坂本町堰堤 (Sakamotochou Dam)



SABO-DATA (ClGrMM)

所在地: 神奈川県伊勢原市大山
形 式: 不透過型重力式石積堰堤
管理者: 神奈川県平塚土木事務所

溪流名: 二級河川金目川水系 不動沢
規 模: 高さ7.0m 堤頂長19.5m
完成年度: 大正14年度



ランダム情報

関東大震災及びその後に降り続いた雨による山降流で下流の大山町（当時の町名）においても甚大な被害があり、大正13年砂防法 修改後の直轄施行による農民復旧砂防事業で施工した砂防堰堤。

こだわり技術

左岸が堰で軸の貫入は浅いが、床付と右岸の軸は土砂で、深く貫入されている。水通しは左岸側に寄り、その形状は左右非対称である。左右岸で軸状況が異なることや、流路の位置を段階的に設計されたことが窺われる。右岸の軸は、当時の砂害を逃すため、土渠に折れており、石礫は矢羽状の谷間でせり持ち作用が働き、石の形や大きさが多少不揃いでも丈夫で、堰堤下には水叩きが無いにも拘らず100年経過後でも堰堤は安定しており、当時の設計・施工の技術力の高さが窺われる。